

その他の身につけるものについて

本大会においてプレーヤーが競技中に身につけられるものは、「2025バスケットボール競技規則 第4条 4-4 その他の身につけるもの」に準ずるものとします。

★プレーヤーが競技中に身につけられるもの

色の指定あり

- ・マウスガード（無色透明）

色の指定なし

チームで色を揃える 必要が**ある**もの①

- ・ **コンプレッションウェア**
- ・ ヘッドギア
- ・ リストバンド（※1）
- ・ ヘッドバンド（※1）
- ・ サポーター類
- ・ ヘアバンド
- ・ 手甲

チームで色を揃える 必要が**ある**もの②

- ・ ソックス
- ・ マスク（※3）

チームで色を揃える 必要が**ない**もの

- ・ 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
- ・ 膝の装具（※2）
- ・ 負傷した鼻のプロテクター
- ・ 眼鏡
- ・ テーピング
- ・ 足首の装具（※2）

※チームで色を揃える必要があるもの①と②（ソックス・マスク）の色を揃える必要はありません。

（※1）最大10cmの幅で、繊維素材のもの。

（※2）装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことで、病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。スポーツショップなどで購入した市販サポーター類は含みません。

★ユニフォームやソックスからはみ出さないものに関しては、色を揃える必要はありません。

★プレー中に接触等でユニフォームの中に着用しているものが見えた場合、それははみ出したということにはならないので、他の身につけるものと色が揃っていないものを着用していても、JBAから注意することはありません。

（※3）マスクは、織布・布・ウレタン製のものを着用可とします。

チームで統一した単色無地のものとし、チームロゴ、メーカー表示等のないものとします。

その他の身につけるものについて

★プレーヤーが競技中に**身につけられる**ものについて
(詳細)※このページに掲載のものが全てではありません。

チームで色を揃える必要があるもの

・腕や脚のコンプレッションウェア
(シャツ/パワータイツ)
※無地・単色、広告掲載不可



・リストバンド/ヘッドバンド
※最大10cmの幅で、繊維素材のもの



・ヘッドギア



・ヘアバンド



・腕のサポーター



・膝のサポーター



・指、手および手首のサポーター



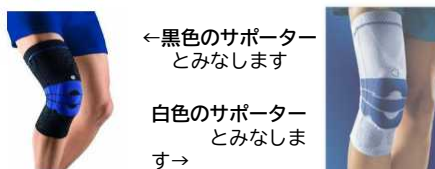
・肘のサポーター



・肩のサポーター



・足首のサポーター



← 黒色のサポーター
とみなします

白色のサポーター
とみなしま
す→

・大腿部のサポーター



・手甲



★これらの身に付けられるものは、すべてチームで色を統一する必要があります。
例えば、黒色のサポーターを着用する場合、白色のヘッドバンドは着用できません。
また、あるプレーヤーが黒色のサポーターを着用する場合は、同じチームの他のプレーヤーも
黒色のサポーターやヘッドバンドを着用する必要があります。

その他の身につけるものについて

★プレーヤーが競技中に**身につけられるもの**について
(詳細)※このページに掲載のものが全てではありません。

チームで色を揃える必要がないもの

・眼鏡



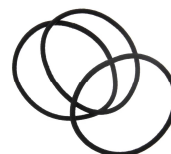
・鼻のプロテクター



・テーピング



・ヘアゴム（飾り付きはNG）



・膝の装具



・足首の装具



装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことで、病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。
※スポーツショップなどで購入した市販のサポーター類は含みません。

競技中（ウォーミングアップ含む）に**使用できないマスクの種類**



★**換気口にプラスチック製品の部品がある物やマスク自体がプラスチック製品、フェイスマスク様の首まで覆われているもの等は使用できません。**

★着用(例)



黒色の腕のコンプレッションスリーブ + 黒色の脚のコンプレッションスリーブ + 赤色のソックス・マスク

⇒ソックスとマスクは他の身につけるものと色を統一する必要はないので、赤色を着用しても問題ありません。



青色の膝のサポーター + 青色のヘッドギア + 黒色の足首の装具

⇒足首の装具は色を揃える必要はないので、黒色を着用しても問題ありません。



黒色の膝のサポーター + 青色のヘッドギア

⇒サポーターとヘッドギアは色を統一する必要があるものですので、どちらかの色に統一していただく必要があります。

★ユニフォームやソックスからはみ出さないものに関しては、色を揃える必要はありません。
★プレー中に接触等でユニフォームの中に着用しているものが見えた場合、それははみ出したということにはならないので、他の身につけるものと色が揃っていないものを着用していても、JBAから注意することはありません。

その他の身につけるものについて

★プレイヤーが競技中に**身につけられないもの**について(詳細)
※このページに掲載のものが全てではありません。

- ・ユニフォームのシャツからはみ出すシャツ状のもの (コンプレッションではないもの)



- ・無色透明以外のマウスピース (メーカーロゴ、番号・名前が入っているものも着用不可)



- ・点滅するライト、反射素材やその他装飾物が付いたシューズ



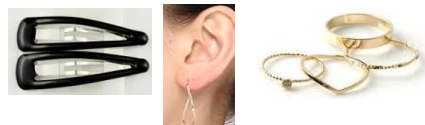
- ・ヘルメット
- ・スカーフスタイルのヘッドバンド (ハチマキ含む)



- ・商業的、宣伝的、チャリティー目的の名前やマーク、ロゴやその他特定できるもの



- ・ヘアアクセサリや貴金属類 (飾り付きヘアゴムも含む)



- ・柔らかいパッドで覆われていても、指、手、手首、肘や前腕の防具



- ・固定具や支持具で、皮革、プラスチック、合成樹脂、金属、その他硬い素材で作られているもの
- ・他のプレイヤーに切り傷やすり傷を与えるようなもの (爪は短く切っておくこと)

その他の身につけるものについて

2020年11月1日よりソックスの規定の運用が一部変更となっております。

変更内容をご確認いただき、規則違反が無いようにしてください。

〈参考資料〉新ユニフォーム規則 運用変更箇所

第11条2項の別表2

	位置／数	サイズ	その他	例
チーム名	・シャツ前面に1箇所かつ2行以内 ・シャツの背面に1箇所かつ2行以内	・1行の場合、高さは「8cm」以内 ・2行の場合、高さは各行「6cm」以内		
チームロゴ	・シャツの前面に1箇所 ・パンツに1箇所	・1箇所あたり「20cm ² 」以内		
製造メーカーロゴ	・シャツ前面に1箇所 ・パンツに1箇所 ・1組のソックス	・1箇所あたり「20cm ² 」以内 ・半足に対して「50cm ² 」以内(ソックス)	・バスケットシューズを履いた状態で見えるソックスの模様や柄の面積も「50cm ² 」に含めること。(ソックス)	
都道府県・都市・地域名	・シャツ前面(選手番号の上部)に1箇所かつ2行以内 ・シャツ背面(選手番号の上部)に1箇所かつ2行以内	・1行の場合、高さは「8cm」以内 ・2行の場合、高さは各行「6cm」以内		TOKYO、Tokyo、東京、Nerima、NERIMA、練馬など
チームメンバー名	・シャツ背面に1箇所かつ1行のみ	・高さは「6cm」以上「8cm」以内	姓/名またはコートネームなど、表記の種類をチーム内で統一すること	Hasegawa、HASEGAWA、長谷川、Takashi、TAKASHIなど

ユニフォーム規則の第10条第1項のなお書き（パンツに選手番号を付けることはできない）および第11条第2項の規定（上記のものを付けることができる位置の詳細）についての移行期間は、2023年3月31日に終了しております。